

6月1日 離任式

今年の離任式でN先生が話されたことが印象に残っている。大学を出て、講師になってから常に気を張って過ごしていた。何か問題が起こっても、全て自分で解決しなければならない。それが大人の振る舞いだと思い込んでいた。けれども、小田高に来て、人に頼ってもいいんだということを教わった。頼って助けられて成長することの大切さを知った。そんな話だった。

私はその話を聞きながら、自分の若い頃を思い浮かべていた。私もN先生と同じように、人を頼ったり、人に教わったりすることは恥だと思い込んでいた。内向的な性格も相まって、事実、ほとんど人を頼りにしたことがなかった。結果、当たり前だけど多くの失敗を繰り返していた。そんなとき、見えないところで奔走され、フォローしてくださった先輩方がおられた。頼らずとも助けてくださる環境に甘えていたのだ。「頼ること」ができたN先生を私は羨ましく思う。

「頼る力」。言い換えるならばそれは「感謝を示す力」であり、「生きる力」だ。一所懸命に努力しておれば、つまりいても、誰かが手を差し伸べてくれる。

